

ハーナウ市 新聞 記事 7月19日

日本へのお見舞い状（まとめ）

7月初めの豪雨で多くの方が被災され、建物への被害もありました。

そのため、友好協会ハーナウ・鳥取の役員から、姉妹都市鳥取市の市長と友好親善協会へお見舞い状を送ることにしました。

友好協会ハーナウ・鳥取は豪雨災害のニュースで心を痛めました。被災されて亡くなった方は既に200人を超え、家を失った方も大勢います。

また、大変な猛暑により、水不足や感染症の恐れもある状況です。

鳥取は幸いにも、直接的な被害は無かったとのことですが、被災地で家族や友人を亡くした方もいらっしゃるかもしれません。

友好協会ハーナウ・鳥取の会長シェッツケ・サビネ氏と副会長のゲベルト・ヒルデガルト氏は「親愛なる日本の友人へ、この困難な時期に私たちの弔意と支援を申し上げます。」と手紙の最後に書きました。